SEO TOKYO maker

東京 SEO メーカー | ADMANO inc.

WHITE PAPER
INDEXING GUIDE
2026.11

Google Search Console のステータス別 実務ガイド

インデックスされない原因と対処法

「検出 - インデックス未登録」「クロール済み - インデックス未登録」などの意味と、症状別の確認ポイント



2026 年 11 月版　東京 SEO メーカー（アドマノ株式会社）

00 OVERVIEW

本資料でわかること

- インデックスされるまでの流れ
- Search Console で原因を調べる 2 つの方法
- 主なステータスの意味と、症状別の対処法
- インデックスされないページの確認手順

最初に押さえたい 2 つのポイント

「未登録」＝修正すべきエラーとは限らない
重複ページ・削除したページ・意図的に noindex を設定したページは、未登録で問題ありません。

登録リクエストの繰り返しでは解決しない
原因（技術設定・内容・重複・内部リンク）を直してから、必要に応じてリクエストします。

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

CONTENTS

目次

01 インデックスの仕組み
発見からインデックスまでの 5 段階

02 Search Console で現状を確認
インデックス登録レポートと URL 検査

03 対応が必要かを判断する
ステータスの分類と判断フロー

04 検出／クロール済み - インデックス未登録
原因と確認項目

05 noindex ・ robots.txt ・ 403 ・ 5xx
設定とサーバーの問題

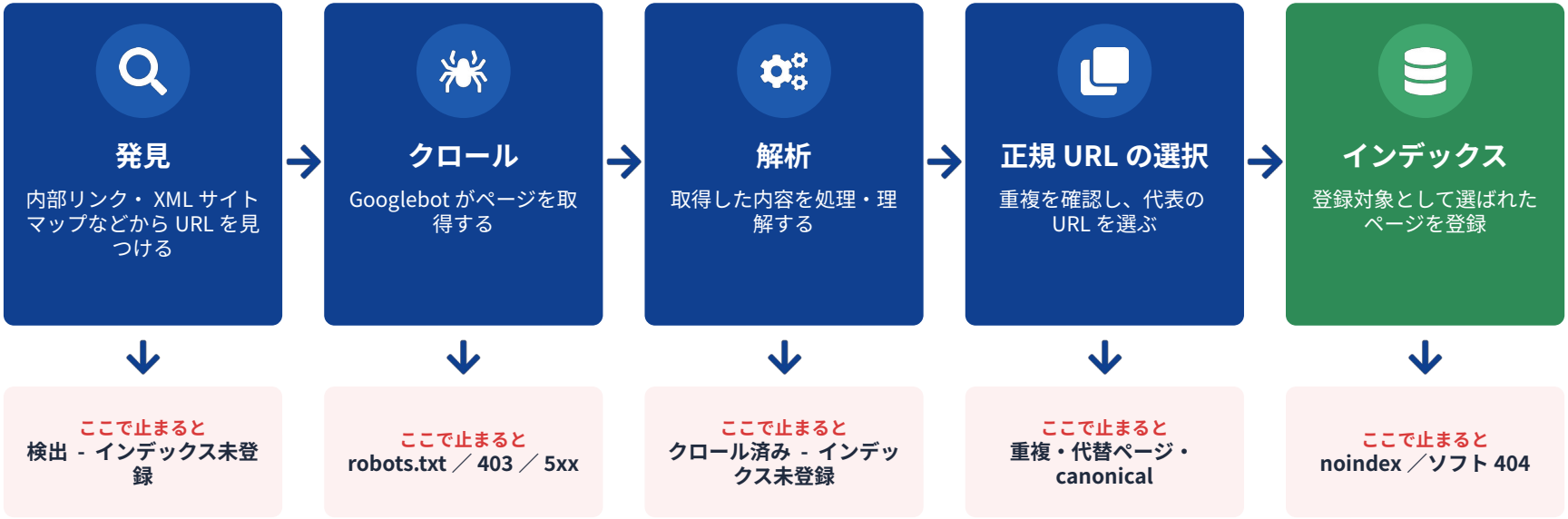
06 重複・ canonical ・ソフト 404 ほか
正規 URL ・リダイレクトの考え方

07 確認手順とステータス早見表
参考資料・ご相談

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

01 HOW INDEXING WORKS

インデックスされるまでの 5 段階と、止まる場所



技術的に問題がなくても、すべてのページが必ずインデックスされるわけではありません。まずどの段階で止まっているかを確認します。

出典： Google 検索セントラル「 Google 検索の仕組み」、 Google Search Console ヘルプ「ページ インデックス登録レポート」

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

02 CHECK WITH SEARCH CONSOLE

原因を調べる 2 つの方法：全体と URL 単位

サイト全体の傾向を見る
ページのインデックス登録レポート
未登録の理由（ステータス）ごとに件数と URL を確認できる

特定のページを詳しく調べる
URL 検査
1 つの URL について、 Google の認識状況を確認できる

URL 検査で確認する項目

Google が URL を認識しているか	検出（サイトマップ・参照元ページ）
ページを正常に取得できたか	ページの取得・ステータス
クロール・登録が許可されているか	インデックス登録を許可？
正規 URL の一致	ユーザーが指定した正規 URL ／ Google が選択した正規 URL
最後にクロールされた日時	前回のクロール

公開 URL をテスト

現在公開中のページの状態を確認する機能です。

「URL は Google に登録できます」

＝技術的に登録できる状態という意味。実際に登録するかは Google が別に判断し、掲載は保証されません。

出典： Google Search Console ヘルプ「URL 検査ツール」「ページ インデックス登録レポート」

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

03 TRIAGE

まず「検索に表示させる必要があるか」を判断する

そのページを検索結果に表示させたい？

- **いいえ** → **未登録のままで問題なし**
  重複ページ／削除したページ／意図的に noindex を設定したページ／代替ページ
- **はい** → **ステータス別に原因を調べる**
  URL 検査で取得状況・許可設定・正規 URL を確認し、原因を修正する

ステータスの大まかな分類

意図どおりなら対応不要

- 代替ページ（適切な canonical タグあり）
- 重複していますが、ユーザーが正規ページとして選択していません
- ページにリダイレクトがあります

表示させたいなら要確認

- 検出／クロール済み - インデックス未登録
- URL に noindex が指定されています／ robots.txt によってブロック
- 403 ／ 5xx ／ソフト 404 ／リダイレクト エラー

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

04 DISCOVERED - NOT INDEXED

「検出 - インデックス未登録」の原因と対処

検出 - インデックス未登録

Google が URL を発見しているものの、まだクロールしていない状態。Google は、サイトへの負荷を避けるためにクロールを後回しにしている場合などがあると説明しています。

確認する項目

- [ ] XML サイトマップに URL が記載されているか
- [ ] インデックス済みのページから内部リンクされているか
- [ ] robots.txt でクロールを拒否していないか
- [ ] サーバーが安定して応答しているか
- [ ] 不要な URL が大量に生成されていないか

出典： Google Search Console ヘルプ「ページ インデックス登録レポート」

不要な URL が多いと、重要なページが後回しに



検索結果ページ・絞り込みページ・パラメータ付き URL を整理し、インデックスさせたいページはサイトマップに記載。関連するページから、ユーザーの閲覧経路に沿って内部リンクを設置します。

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

04 CRAWLED - NOT INDEXED

「クロール済み - インデックス未登録」5 つの原因

クロール済み - インデックス未登録

クロールされたが、現在は登録されていない状態。今後登録されることも、されないこともあります。この表示だけで「低品質」「ペナルティ」と断定はできません。

01 処理に時間がかかっている

公開・更新直後なら、しばらく様子を見る

02 他のページと重複

URL 検査で「Google が選択した正規 URL」を確認

03 独自情報が不足

独自データ・経験・専門家の見解・具体例を追加。役割が重なるページは統合も検討

04 内容を正しく取得できていない

JavaScript の不具合やサーバーエラーを、取得 HTML とスクリーンショットで確認

05 重要性が伝わりにくい

関連ページから内部リンクを設置し、サイトマップに正しい URL を記載

Google 公式：この URL のクロールを再リクエストする必要はありません。リクエストを繰り返すのではなく、重複・内容・取得状況・内部リンクを順に見直します。

出典： Google Search Console ヘルプ「ページ インデックス登録レポート」

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

05 NOINDEX & ROBOTS.TXT

noindex と robots.txt の違い

項目	noindex	robots.txt
役割	検索結果に登録しないよう伝える	ページを見に来ないよう伝える（クロール制御）
ステータス	URL に noindex が指定されています	URL が robots.txt によってブロックされています
確認する場所	robots メタタグ／X-Robots-Tag （HTTP ヘッダー）／WordPress ・ SEO プラグイン	サイト直下の /robots.txt
検索から消せるか	消せる（Google がページを確認できることが前提）	消せない。外部リンクなどから URL だけ表示されることがある
よくあるミス	テスト環境の noindex が公開後も残っている	表示させたいページまでブロックしている



表示させたくないページ
Google が確認できる状態にしたうえで noindex を設定



機密情報・会員限定ページ
robots.txt や noindex ではなく、ログイン認証で保護

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

05　403 & 5XX

403 ・ 5xx ： Googlebot に正しく応答できていない

403　アクセス禁止（403）が原因でブロックされました

サーバーが Googlebot のアクセスを拒否している状態。 4xx の URL はインデックスに使われず、続けば登録済みでも徐々に削除されます。

確認する項目

- ☐ WAF が Googlebot を遮断していないか
- ☐ CDN のセキュリティ設定
- ☐ セキュリティプラグインの拒否設定
- ☐ IP 制限・ Basic 認証
- ☐ サーバー側のアクセス拒否

クロール頻度を抑える目的で 403 を返さない

5xx　サーバーエラー（5xx）

サーバー側の問題で取得できなかった状態（500 ・ 502 ・ 503 ・ 504 など）。 5xx が増えるとクロールのペースが落ち、長く続くと登録済みページも削除される可能性があります。

確認する項目

- ☐ サーバーの障害・負荷、タイムアウト
- ☐ PHP ・アプリケーションのエラー
- ☐ データベースへの接続障害
- ☐ CDN とオリジン間の障害
- ☐ メンテナンス設定・サーバーログ

503 のメンテナンスは長期間続けない

出典： Google 「 HTTP ステータスコードが Google のクローラーに与える影響」、 Google Search Console ヘルプ「ページ インデックス登録レポート」

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

06 DUPLICATES & CANONICAL

重複・ canonical に関する 3 つのステータス

対応不要　**代替ページ（適切な canonical タグあり）**

正規 URL への canonical が正しく設定されたページ。正規ページが登録されていれば対応は不要です。
→ 例： canonical 付きのパラメータ URL ・印刷用ページ・並び順違いのページ

基本は対応不要　**重複していますが、ユーザーが正規ページとして選択していません**

Google が重複を検出し、別の URL を正規として選んでいる状態。 Google はエラーではないと説明しています。
→ 選ばれた URL が意図と違う場合だけ、優先したい URL へ canonical 等を統一

要確認　**重複しています。 Google により、ユーザーがマークしたページとは異なるページが正規ページとして選択されました**

サイトが canonical で指定した URL と、 Google が選んだ URL が異なる状態。
→ URL 検査で両方を比較。両方を登録したいなら、ページの目的・内容を明確に分ける

Google は複数のシグナルで正規 URL を判断



canonical は希望を伝える指定で、必ず採用されるとは限りません。優先したい URL へ、 canonical ・サイトマップ・内部リンク・リダイレクトを統一します。

出典： Google Search Console ヘルプ「ページ インデックス登録レポート」

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

06 SOFT 404 & REDIRECT

ソフト 404 と、リダイレクトの 2 つのステータス

ソフト 404

サーバーは 200 （正常）を返しているのに、内容がなく「存在しないページと同じ」と判断される状態

サーバーの返答		実際の中身
200 正常	≠	ほぼ空・エラー表示

例：本文がほとんどないページ／削除済みの商品ページ／検索結果 0 件のページ／エラーメッセージだけのページ

削除したページ → 404 または 410 を返す
今後も使うページ → 200 のまま必要な内容を追加

リダイレクトには 2 つのステータスがある

対応不要 ページにリダイレクトがあります

別のページへ転送している非正規 URL 。意図した移転なら問題なし。転送先がインデックスされているかを確認

要修正 リダイレクト エラー

転送が何段階も続く・ループする・ URL が長すぎる・転送先が不正など。転送の設定を修正する

出典： Google Search Console ヘルプ「ページ インデックス登録レポート」、 Google 検索セントラル「ソフト 404 エラー」

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

07 WORKFLOW

インデックスされないページの確認手順

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5
必要性を判断	**URL 検査**	**原因を修正**	**公開 URL をテスト**	**登録リクエスト**
検索結果に表示させる必要があるページか	表示・クロール／登録の許可・ canonical ・本文の取得を確認	技術設定・内容・重複・内部リンクを直す	修正が反映され、登録できる状態か確認	必要に応じて実施。登録の保証ではなく、原因の修正が先

インデックスさせないページ（重複・削除済み・意図的な noindex など）は、未登録のままで問題ありません。目的に応じて、 canonical ・ 404/410 ・ noindex ・認証などで処理します。

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

07 CHEAT SHEET

ステータス早見表

ステータス	状態	対応	主な対処
検出 - インデックス未登録	発見済み・未クロール	**要確認**	サイトマップ・内部リンク・不要 URL の整理
クロール済み - インデックス未登録	クロール済み・未登録	**要確認**	重複・独自性・取得状況・内部リンクを見直す
URL に noindex が指定されています	noindex で除外	**意図による**	表示させたいなら noindex を解除
URL が robots.txt によってブロックされています	クロール拒否	**意図による**	表示させたいならブロックを解除
アクセス禁止（ 403 ）が原因でブロックされました	アクセス拒否	**要修正**	WAF ・ CDN ・プラグイン・ IP 制限を確認
サーバーエラー（ 5xx ）	取得失敗	**要修正**	サーバー負荷・アプリ・ DB ・ログを確認
代替ページ（適切な canonical タグあり）	正規ページの代替	**不要**	正規ページの登録を確認
重複していますが、ユーザーが正規ページとして選択していません	Google が別 URL を正規に	**基本不要**	意図と違う場合のみ canonical 等を統一
Google により…異なるページが正規ページとして選択されました	指定と異なる正規 URL	**要確認**	URL 検査で比較し、シグナルを統一
ソフト 404	200 だが中身がない	**要修正**	404/410 を返すか、内容を追加
ページにリダイレクトがあります	転送元 URL	**不要**	転送先の登録を確認
リダイレクト エラー	転送の失敗	**要修正**	チェーン・ループ・転送先を修正

出典： Google Search Console ヘルプ「ページ インデックス登録レポート」（ステータス名は日本語版の表示に準拠）

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

REFERENCES

参考資料

01 **Google Search Console ヘルプ「ページ インデックス登録レポート」**
https://support.google.com/webmasters/answer/7440203?hl=ja

02 **Google Search Console ヘルプ「 URL 検査ツール」**
https://support.google.com/webmasters/answer/9012289?hl=ja

03 **Google 「 HTTP ステータスコードが Google のクローラーに与える影響」**
https://developers.google.com/crawling/docs/troubleshooting/http-status-codes

04 **Google 検索セントラル「 Google 検索の仕組み」**
https://developers.google.com/search/docs/fundamentals/how-search-works?hl=ja

05 **Google 検索セントラル「重複した URL を統合する（ canonical ）」**
https://developers.google.com/search/docs/crawling-indexing/consolidate-duplicate-urls?hl=ja

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

CONTACT

インデックスされない原因の調査・改善はご相談ください

東京 SEO メーカーでは、 Google Search Console の分析から、
インデックスされない原因の調査と改善まで対応しています。



世界基準で SEO 、 AIO 、 LLMO を設計する

こんなときにご相談ください

- 公開したページが検索に出てこない
- 「未登録」のページが急に増えた
- どのステータスを直すべきか分からない
- canonical や重複の整理をしたい

東京 SEO メーカー
https://www.switchitmaker2.com/

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.